

令和 5年度予算見積調書

課室名：嵐山史跡の博物館

担当名：総務担当

内線：

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業			
P83	嵐山史跡の博物館管理運営費	一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費			
事業期間	昭和51年度～	根拠法令	史跡の博物館条例、文化財保護法		針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 4, 11		
				分野施策	0803 文化芸術の振興		SDGsターゲット 4-7, 11-4		
1 事業概要	博物館施設設備や、菅谷館跡の維持管理を行い、県民に安全で利用しやすい施設を提供する。 また、常設展示、教育普及、調査研究を中心とした各種事業を実施し、県民共有の文化遺産を広く公開し、活用を図る。		5 事業説明						
	ア 常設展示事業	2,691千円	(1) 事業内容						
	イ 教育普及事業	1,068千円	ア 常設展示事業		2,691千円				
			イ 教育普及事業		1,068千円				
			児童生徒の体験学習、各種講座の開催、ボランティアの活用等						
			(2) 事業計画						
			ア 菅谷館跡をはじめとした中世城館跡群ゆかりの展示・解説を行い、県民の郷土の歴史・文化や自然に対する理解を深めていただく。						
			イ 教育普及事業						
			小・中学校の体験事業の受入れ、各種講座の開催、ボランティアの活用を行い、郷土の歴史・文化や自然に対する意識の高揚を図る。						
			(3) 事業効果						
			利用者数 令和5年度目標：71,219人(参考：平成元年度：64,544人 令和2年度：21,612人 令和3年度：45,047人)						
			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況						
			ア 高校生ボランティアティーチャー：小学生を対象としたイベント運営補助、博物館学芸員の仕事体験等						
			イ 博物館ボランティア：展示解説、菅谷館跡のガイド、体験学習の指導のサポート等						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細節)社会教育施設費 (積算内容)博物館費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×6人=57,000千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		財産収入	諸収入						
決定額	3,759	1,176	273					2,310	△43
前年額	3,802	1,052	613					2,137	

事業内訳書

事業名	嵐山史跡の博物館管理運営費		
単位事業名	常設展示事業	予算額	2,691千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	150	60	展示資料借用謝金 30,000円×2点+15,000円×1点+5,000円×3点 展示協力者謝礼 30,000円×2人
需用費	952	94	展示替消耗品費 171,050円 展示PRグッズ製作 86,900円 巡回文化財展消耗品費 7,150円 企画展関連印刷費 621,500円 巡回文化財展関連印刷費 63,434円
役務費	16	0	広報用印刷物発送代 15,120円
委託料	1,297	85	企画展資料運搬・梱包業務 1,296,900円
備品購入費	276	△62	パソコン購入 275,540円
合計	2,691	177	

単位事業名	教育普及事業	予算額	1,068千円
-------	--------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	200	△80	歴史講座講師謝金 20,000円×3人+15,000円×3人 歴史講座講師旅費 2,500円×6人 講演会講師謝金 20,000円×2人+15,000円×2人 講演会講師旅費 2,500円×4人
需用費	415	0	体験学習消耗品 57,530円 歴史講座消耗品 78,210円 文化財めぐり消耗品 2,420円 催物案内印刷 176,000円 広報用チラシ印刷 99,000円
役務費	301	△34	講座会場技術料 34,500円×7回 文化財めぐり保険料 100円×60人×3回 ボランティア保険料 350円×70人+800円×20人
使用料及び賃借料	152	△106	歴史講座会場使用料 19,550円×1.1×6回 講演会会場使用料 19,550円×1.1×1回
合計	1,068	△220	